

伊万里釜Aチームが優勝

第53回福島町一周駅伝大会が1月14日に開催され、8区間24・42キロで健脚が競われました。

今大会には市内外から21チームが参加。ふれあい広場前をスタートし、沿道の声援を受けながらたすきをつなぎました。

上位の結果は次の通りです(敬称略)。

【総合成績】

●町内一般

①伊万里釜A 1時間31分31秒

②里A 1時間32分5秒

③原A 1時間34分24秒

●オープン

①畑川内 1時間33分1秒

②有工OB父兄会 1時間34分20秒

③歩の会 1時間37分17秒

【区間賞】

1区 吉田良(伊万里釜A)

2区 古河健太(里A) 15分34秒

3区 肥田文浩(福崎) 11分10秒

4区 福井雄一(播磨釜A) 9分33秒

5区 本山智貴(原A) 16分25秒

6区 香川義男(日の浦) 10分18秒

7区 前田孝典(里A) 11分45秒

8区 濱本光志朗(伊万里釜A) 7分31秒

木島志華人(伊万里釜A)

6分17秒



三福島町生徒学習交流とホークス交流で各町を訪問

【鷹島小児童が北海道を訪問】

12月23日から27日にかけてホークス交流事業訪問団が北海道鷹栖町を訪問し、交流を深めました。

ホークス交流事業での鷹栖町への児童派遣は平成8年から実施しており今回で11回目。鷹島町と鷹栖町の児童が、互いの町を訪問し、ホームステイなどで同世代の子どもたちとの交流を行っています。

今回訪問したのは、鷹島小学校6年の川瀬^{たく}君、近藤^{まさる}君、柳本^{ゆうき}祐希君、木下のぞみさん、久保^{めぐみ}恵さん、坂本^{せいか}星華さんの6人。初めて目にする一面の銀世界に寒さも忘れてスキーやチューブすべり体験などをして鷹栖町民との交流を深めました。



【福島中生徒が北海道と長野県を訪問】

12月22日から25日にかけて三福島町生徒学習交流事業が行われ、福島中学校の生徒が北海道福島町を訪問しました。

平成元年から毎年、福島町と北海道福島町・長野県木曽町の生徒が、互いの町を訪問し、ホームステイなどで同世代の子どもたちとの交流を行っています。

今回訪問したのは、2年の大山^{あつし}篤史君と、本山^{ともき}智貴君、1年の岡本^{たかよし}孝允君と金子^{まさき}聖輝君の4人。滞在中は、学校交流や町内見学、スキー体験学習(写真)などで交流を深めました。

また、1月26日から29日には、同校の8人が長野県木曽町を訪問し、交流を深めました。



縄文時代の幕開け

寒冷な気候も約1万年前には現在の温暖な気候にかわり新しい文化が生まれます。この文化は食糧採集を基礎とし、土器を用いた文化として縄文文化と呼ばれています。人々は石器や骨角器・木器などを使い、竪穴住居や洞窟・岩陰などに住んで、木の実や山菜・獣・鳥・魚・貝などをとって食べていました。

佐世保市の泉福寺洞窟は旧石器時代の伝統の細石器と土器が共存する遺跡として有名です。この洞窟からは世界最古の土器（約1万3千年前）が発見されています。この土器は、表面に豆粒状の飾りをもっていることから豆粒文土器と呼ばれています。また、表面には多量の煮こぼれが墨状になって見られることから最初から煮たきに使われていたことを物語っています。土器の出現によって今まで食べられなかったものも新しく食料に加わり口に入れることができるようになりました。しかし、一方では硬い食物を減らすことにより日本人の歯の退化をうながすことにもなりまし

た。土器の発明は今日の原動力の発明にも匹敵する大発明で、いよいよ縄文時代の幕明けとなります。



▲泉福寺洞窟出土の豆粒文土器
長崎県文化団体協議会発行
「長崎県の文化財」より



ブルック先生
(アメリカ出身)

Texas Loves Rice テキサスの人は米が好き

日本では、みんなの日常の食べ物として、米がとても重要な位置を占めています。私の出身地テキサスでも、日本と同じくらい米は重要です。

私の出身地テキサス州南部は、アメリカで最大の米の産地の一つです。私の郷里ケーティ (Katy) では、毎年10月に米の収穫祭が開催され、私たちのまちにとって特別な存在である米の収穫を祝っています。



ケーティの町中とその周辺も、日本のように田んぼで埋め尽くされています。収穫祭はここ数年大きな催しとなり、いろいろな食べ物が販売され、工芸品を売る店300店が立ち並び、ダンスと歌のステージも3回開催され、毎年4万人が訪れます。また、パレードやマラソン、米料理コンテストも開催されます。

米の栽培は、ケーティのまちの発展を助けているため、私たちは毎年10月の米の収穫祭でこれを祝うのです。